福知山市商工会 企業業況調査

令和5年4月調査結果(令和5年1月~3月分 調査対象 78件)(令和5年5月公表)

■景況感

			現状		先行3ヶ月		先行1年	
		今回調査数	今回	前回	今回	前回	今回	前回
	全体	78	37.8	28.1	37.2	31.8	40.7	32.1
地	三和	17	30.9	27.9	32.4	32.4	35.3	32.4
域 別	夜久野	23	41.3	29.8	39.1	30.8	41.3	29.8
	大江	38	38.8	27.0	38.2	32.2	42.8	33.6
	製造業	21	41.7	34.5	39.3	35.7	38.1	28.6
業 種	建設業	21	39.3	39.3	36.9	41.7	46.4	42.9
別	卸小売業	16	29.7	16.2	34.4	25.0	39.1	27.9
	サービス業	20	38.8	20.5	37.5	23.9	38.8	28.4

【景況感DIの算出方法】

回答構成比(%)に、以下の点数を乗じてDIを算出 良い+1.0、やや良い+0.75、どちらともいえない+0.5、やや悪い+0.25、悪い+0.0 (すべてが「どちらともいえない」と回答した場合、DIは「50.0」)

全体の景況感DIは37.8と前回調査より9.7ポイントの大幅なプラスとなった。地域別に見ると、三和が3.0ポイント、夜久野が11.5ポイント、大江が11.8 ポイントのプラスとなっている。業種別に見ると、製造業が7.2ポイント、卸小売業が13.5ポイント、サービス業が18.3ポイントのそれぞれプラスとなっており、建設業は前回調査と同ポイントとなった。

先行調査では、先行3ヶ月が37.2となり5.4ポイント、先行1年が40.7となり8.6ポイントのそれぞれプラスとなった。業種別に見ると、先行3ヶ月では建設業でマイナス、その他の業種ではプラス、先行1年ではすべての業種でプラスとなっている。

マスク着用義務がなくなり、催し等が制限なく開催され始めたことなどから景況感は改善となった。一方で、需要が活性化しても、コスト高騰が採算を圧迫し続けており、依然として小規模事業者を取り巻く環境は厳しく、持ち直しの動きは鈍い。

■経営動向

〇製造業・建設業

	今	期	前年同	閉期比	向こう3ヶ月		
	今回	前回	今回	前回	今回	前回	
引合			-28.6	-31.0	-28.6	-33.3	
売上			-11.9	-26.2	-26.2	-33.3	
仕入単価			-76.2	-76.2	-59.5	-66.7	
従業員数			-19.0	-11.9	4.8	4.8	
採算	4.8	-2.4	-26.2	-28.6	-28.6	-33.3	
資金繰り	-19.0	-16.7	-19.0		-14.3		
業況	-31.0	-38.1	-21.4		-33.3		

○卸小売業・サービス業

	今	期	前年同	司期比	向こう3ヶ月		
	今回	前回	今回	前回	今回	前回	
売上			-22.2	-56.4	-31.4	-69.2	
仕入単価			-63.9	-76.9	-62.9	-69.2	
客数	/	/	-38.9	-61.5	-28.6	-59.0	
客単価			-2.8	-33.3	-2.9	-35.9	
従業員数		_	-16.7	-5.1	8.6	-7.7	
採算	-30.6	-20.5	-38.9		-40.0		
資金繰り	-44.4	-41.0	-36.1		-28.6		
業況	-61.1	-61.5	-41.7		-45.7		

【経営動向DIの算出方法】

「良い」とみる割合(%)から、「悪い」とみる割合(%)を引いてDIを算出 (「良い」と「悪い」の割合が同じ場合、DIは「0」)

※(製造業・建設業)グループと、(卸小売業・サービス業)グループに分類して集計を している。

★今期の経営動向

製造業・建設業においては、採算が7.2ポイントのプラス、資金繰りが2.3ポイントのマイナス、業況が7.1ポイントのプラスとなっている。

卸小売業・サービス業においては、採算が10.1ポイント、資金繰りが3.0ポイントのそれぞれマイナス、業況が0.4ポイントのプラスとなっている。

★前年同期比

製造業・建設業においては、前年同期比では、引合が2.4ポイント、売上が14.3 ポイントそれぞれプラス、仕入単価は同ポイント、従業員数が7.1ポイント、採算が 2.4ポイントそれぞれプラスとなっている。

卸小売業・サービス業においては、前年同期比では売上が34.2ポイント、仕入 単価が13.0ポイント、客数が22.6ポイント、客単価が30.5ポイントのそれぞれ大幅 なプラス、従業員数が11.6ポイントのマイナスとなっている。

★向こう3ヶ月

製造業・建設業においては、向こう3ヶ月では、引合が4.7ポイント、売上が7.1ポイント、仕入単価が7.2ポイントそれぞれプラス、従業員数は同ポイント、採算が4.7ポイントのプラスとなっている。

卸小売業・サービス業においては、向こう3ヶ月では売上が37.8ポイント、仕入単価が6.3ポイント、客数が30.4ポイント、客単価が33.0ポイント、従業員数が16.3ポイントのそれぞれ大幅なプラスとなっている。

■今期直面している経営上の問題点 (業種別上位5項目 項目の後の()は前回順位(同順位あり)、業種の後の数字は回答数)

_		製造業(59)		建設業(56)		卸小売業(37)		サービス業(54)
	1位	仕入単価の上昇(1)	27.1%	仕入単価の上昇(2)	23.2%	経費の増加(2)	18.9%	仕入単価の上昇(1)	25.9%
	2位	従業員の確保難(2)	20.3%	経費の増加(1)	14.3%	仕入単価の上昇(1)	16.2%	経費の増加(2)	14.8%
	3位	需要の停滞(3)	13.6%	設備の老朽化(3)	14.3%	従業員の確保難(5)	13.5%	需要の停滞(3)	14.8%
	4位	経費の増加(4)	6.8%	人件費の増加(6)	12.5%	需要の停滞(3)	13.5%	設備の老朽化(5)	13.0%
	5位	人件費の増加(5)	5.1%	需要の停滞(4)	12.5%	設備の老朽化(4)	10.8%	消費者ニーズの変化(4)	7.4%

全体(206)						
仕入単価の上昇(1)	23.8%					
需要の停滞(3)	13.6%					
経費の増加(2)	13.1%					
従業員の確保難(4)	12.1%					
設備の老朽化(5)	10.2%					

今期直面している経営上の問題点としては、業種による順位の違いはあるものの全体の順位としては前回同様「仕入単価の上昇」が1位にあげられており、「需要の停滞」が2位、「経費の増加」が3位となった。引き続きコストアップを課題にあげる経営者が多い。

この調査は、福知山市商工会会員事業所を対象として、景気判断や経営動向等を明らかにし、売上向上を目指した事業計画の策定、販路開拓や商品開発、事業承継、経営改善等経営力向上を推進する基礎資料として活用することを目的に実施しています。

次回は令和5年4月~6月の状況について、令和5年7月に調査する予定です。商工会の経営支援員が調査に お伺いしますので、調査対象の事業所様には引き続きご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。